

FREE

ご自由にお持ちください。

No.828

2022 September

9

岐阜県の森林・林業

も り

森林のたより



News of the forest



岐阜県には様々な里山整備に関する活動を行う
団体があることを知っていますか



ぎふし森守クラブと(県立)岐阜農林高校森林科学科
コラボ事業：枝打ち



木の駅上石津実行委員会の会員による薪づくり



付知町優良材生産研究会のきこり体験ツアー
(東京・名古屋からも参加)

●詳細は12ページをご覧ください



編集・発行 公益社団法人 岐阜県山林協会

E-mail sanrinag@quartz.ocn.ne.jp

<http://www.g-forestry.or.jp> (公社)岐阜県山林協会の情報をご覧ください。

開催日	行事名等	内容等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場所
			申込(問合せ)先/TEL
9月1日(木)~ 10月31日(月)	緑の募金(秋期)	「緑の募金で進めようSDGs」をスローガンに秋の緑の募金を行います。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 058-273-7577
9月3日(土)	狩猟免許試験 (網猟、わな猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：7/29～8/12 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	岐阜大学 全学共通教育講義棟 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2700)
9月11日(日) 9月16日(金) 9月18日(日)	スプーンクラブ	一般の人々に木工に親しんでもらう機会を作るため、月に3~4回程度、伐ったばかりの生木を斧やナイフで削る「グリーンウッドワーク」の手法でスプーンを作る「スプーンクラブ」を実施する。	ぎふ木遊館 TEL:058-215-1515
9月22日(木)~ 25日(日)	樹上作業のための ベーシックアーボリスト トレーニング~BAT-1 BAT-2、BAT-3A~	●定員：BAT-1、BAT-2、BAT-3A 各8名 ●受講料：BAT-1：44,500円、 BAT-2：21,000円(BAT-1修了者)、 BAT-3A：21,000円(BAT-2修了者) ●申込期限：開催日の10日前	岐阜県立森林文化アカデミー 森のコテージ周辺森林 (美濃市) きのぼり屋 / 0587-74-0454
9月26日(月)~ 10月7日(金)	令和5年度森林文化アカデミー入学試験(第1回)願書受付期間	森と木のエンジニア科(推薦入試)：10月21日(金) 森と木のクリエイター科(入試1)：10月22日(土) 入学願書(学生募集要項)については、ホームページ(https://www.forest.ac.jp/admissions/)からダウンロードできます。	森林文化アカデミー 0575-35-2525
9月30日(金) 締め切り	令和5年用国土緑化・育樹運動標語の募集	令和5年用の国土緑化・育樹運動のポスター等で使用する標語を募集しています。	公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 058-273-7577
10月6日(木)	狩猟免許試験 (第一種銃猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：9/1～9/15 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	揖斐総合庁舎 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2700)
①10月15日(土) ~16日(日) ②2月11日(土) ~12日(日)	森林空間を楽しむための 「MRS-1 ベーシック ツリークライマー講習」 ~樹上の世界へようこそ~	●対象：16歳以上で野外活動のできる方 ●定員：8名 ●受講料：36,000円(学生は2割引) ●申込期限：開催日の10日前	岐阜県立森林文化アカデミー 森のコテージ周辺森林 (美濃市) ツリークライミングクラブ®みやあ/ 0587-74-0454
11月12日(土)	狩猟免許試験 (わな猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：10/7～10/21 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	飛騨総合庁舎 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2700)
12月7日(水)	狩猟免許試験 (第一種銃猟、 第二種銃猟)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間：9：30～17：00 ●申込：11/2～11/16 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	恵那総合庁舎 各地域を所管する県事務所等、 または環境生活政策課 (058-272-1111 内線 2700)



目次 Contents

イベントカレンダー(一般向け) 2
 「第46回東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」を
 開催しました 3
 生活環境保全林の紹介「せせらぎ街道四季の郷」 3
 山の歳時記 205 トンビマイタケ 4
 山のおしゃまむし(374) —卵を背負うオス、コオイムシ— 5
 ぎふ木遊館通信 6
 morinosプログラム紹介!! 7
 木の香(たむ)の施設(114) KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE 8
 森林と人を活かす知恵(116) 9
 グリーンウッドワークを通して考える樹木の系統と生態 9
 シリーズ「森林・環境税」で緑豊かな清流の国ぎふづくり(5) 10
 研究コーナー 11
 養生期間の違いによるヒノキ接着重ね材の接着性能 11
 山林協会通信 6 12
 地域の人 所有者に喜ばれる森林づくりを！ 13
 普及コーナー 架線式グラップル・油圧集材機の視察報告 14
 スマート林業通信(27) 15
 林野庁の「経営モデル実証事業」を誘致 15
 国有林の現場から(7) 16
 鳥獣保護及び狩猟に関する講習会を開催しました 17
 林業者向けお知らせ 17
 市況 18



表紙●詳細は12ページをご覧ください。

「第46回 東海地区みどりの少年団サマージャンボリー」

を開催しました

8月4日に「第46回東海地区みどりの少年団(隊)サマージャンボリー」を愛知県豊田市の「愛知県緑化センター」で3年ぶりに開催しました。岐阜県からは、海津市みどりの少年団17名、北方小学校みどりの少年団14名の団員が参加しました。

今回は、コロナの影響もあり、日帰りの行程とし、参加する団員も全体で70名程度に絞った上で、全体を2班に分けて、午前と午後交互に「自然観察ラリー」と「間伐材のフォトフレーム作り」を楽しみました。

自然観察ラリーでは、小雨模様のため、屋内の樹木や草むらの中に隠されたいきものを見つける「いきものみつけ」や木の枝や葉を水に浸して人間の動きなどと調和する「水のある風景」作りを楽しみました。フォトフレーム作りでは、ヒノキの間伐材をベースに、写真の周りに木の実や枝などを工夫しながら貼りつけて、世界で一つのフォトフレームを作り上げました。

日帰りのため短い時間でしたが、みどりの少年団のみんなは、すぐに仲良くなり、団員同士の絆と交流も深まって、夏休みの良い思い出になったと思います。

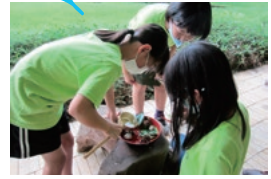
次回は、三重県での開催を予定していますので、多くのみどりの少年団の皆さんの参加を期待しています。

どこにいるかな?



いきものみつけ

涼しい風景を作ってみよう



水のある風景作り

工夫して貼り付けよう



フォトフレーム作り

うまくできたね



フォトフレームができました

みどりの少年団 勢ぞろい



集合写真

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】

森の楽園

生活環境保全林の紹介「せせらぎ街道四季の郷」

岐阜県には、治山事業で整備した生活環境保全林が32箇所あります。生活環境保全林とは、市街地の周辺に位置する保安林のうち、山地災害の防止等と併せて自然環境の保全・形成を目的として整備された森林で、治山施設の設置や花木の植栽等が行われ、保健休養や自然観察の場として、多くの県民の方々に利用されています。

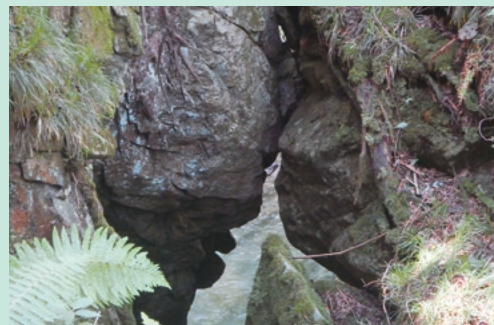
より快適に楽しんでいただくため、生活環境保全林を管理する市町村により、施設の増強や老朽化した箇所の改修などが取り組まれており、県では補助制度(集落環境保全整備事業)を設け、これを支援しています。

今回ご紹介する「せせらぎ街道四季の郷」は、郡上市から国道472号を経て高山市へと通じる通称「せせらぎ街道」沿いにあり、区域内には散策道が整備されていて自然観察・森林浴・トレッキング等を楽しむことができます。

長引くコロナ禍で中止されていた、清見町まちづくり協議会による「おおくら滝トレッキング」も今年復活し、少し明るい兆しが見えてきたこの頃です。会場となる大倉滝には、人が顔を寄せ合っているように見える岩がありますので、お出かけの際にはぜひ探してみてください。



大倉滝



人が顔を寄せ合っているように見える岩



【森林保全課 後藤 謙宜】 ●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-8526 森林保全課まで



文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事 川尻 秀樹

9月を代表するキノコにトンビマイタケがあります。

トンビマイタケ (*Meripilus giganteus*) は8月下旬〜10月初旬に、ブナ老木の根元やその周辺、ブナの切り株から発生するサルノコシカケ科トンビマイタケ属の白色腐朽菌です。

幼菌は小さな純白の塊で、太短い柄から扇状の大きな傘を何枚も張り出し、上下左右に重なった大きな株になるころには褐色になり

ます。

この成菌の姿をトビ(鳶)が翼を広げた姿に見立て、「トンビマイタケ」と呼ばれるようになったのです。

ちなみに由来となったトビは、空高く飛ぶという意味の「とおくひいる」が転化して「飛び」になつたとされ、既に奈良時代にはトビと呼ばれ、江戸時代にはトンビとも俗称されていました。

トンビマイタケはトビタケ、ヤマドリの別名でも呼ばれ、他にも発生する時期が夏からであるためナツマイタケとか、夏暑く雨の少ない年ほど多く採れるため日照りキノコ、ブナから発生することが多いためブナマイタケとも呼ばれます。

トンビマイタケは香りも味も良く、繊維質で硬くなる前の幼菌は珍重されます。しかし多くが奥山で採取されるため、持ち帰るまでに黒く変色することが多く、市場にはなかなか出回りません。

外形はマイタケに似て柄部と傘部の区分けが不明確で、太短い柄の根元から半円形の大きな傘を数枚重ねて出します。肉質は弾力があり、成熟するにつれて硬くなる傾向があります。表面はほぼ平滑で同心円状の模様があり、裏面は白色で管孔が細かく、手で擦ると黒く変色します。触る以外にも調理でも黒変しますが、この変色することが見分けのポイントでもあります。

近年ではブナのオガ粉にフスマ(麦の外皮)やトンビマイタケの種菌を混合し、短く切ったブナ丸太でサンドイッチしたものを土に埋め戻した人工栽培ものが出回っています。

秋田では「茅の穂が出るころになると採れる」と言われ、山形県最上郡真室川町近辺ではお盆のご馳走とされてきました。鶏肉などとの相性が良く、醤油と唐辛子で味つけしたり、油いためにしたり、硬くなった成菌は味噌漬けにして

酒のつまみとします。また乾燥したトンビマイタケは、秋田名物「きりたんぼ」の出汁として人気があります。

よく似たものにミヤマトンビマイ属のミヤマトンビマイとオオミヤマトンビマイがありますが、前者は北海道や本州の亜高山帯の主に針葉樹に発生する褐色のキノコ、後者は本州以南の広葉樹林に発生する淡黄色〜黄土色のキノコで、触っても変色しないため区別できます。



▲9月にブナの根元から発生したトンビマイタケ



山のおじまむし



一卵を背負うオス、コオイムシ【第374回】

自然学総合研究所 野平 照雄 ● Teruo Nohira

岐阜市では、市内の注目すべき生きものたちとして「岐阜市版レッドリスト・ブルーリスト種」を決めている。これに私は昆虫部門の責任者として、現在までに25種のレッド種を選定している。しかし、昆虫を含めすべての生物は生息環境や気温などで生息数が変化する。ある種が急に増えたり、逆にある種はほとんど見るができなくなることもある。そこで4年前からこの種の3回目の見直しを行っている。この作業は必要である。しかし、昆虫類のレッド種は30年以上採集されていないものや、数頭しか採れていない超貴重種ばかり。見つけるのは難しい。某調査員は言った。「こんな片手間のような調査で答えが出るはずがない。ただ調査したと言うだけではないか。」私もそうだと思いながら調査した。やはり超貴重種は見つからなかった。調査員という話した。その中で、「現在レッドリストは国、県、中には市町村でも指定している。言葉は悪いがレッドリストの大安売りという感じだ。特に市町村までがレッド種を決める必要があるのか」という話になった。しかし、今回の調査で、レッド種ではないものの、前には採れていた昆虫がいなくなっていたり、どこでも見られた超普通種が少なくなっている種がいた。これが市町村のレッド種だ。これらの種をくわえるべきだということになった。すぐに目に浮かんできたのがコオイムシ。かつてこの虫はよく見られたが、年々少なくなり岐阜市では絶滅。こんなことを口にする人もいる。ところが最近この虫がいたという話を聞くので、レッドリストの候補に加えることにした。

× × × ×

コオイムシ。漢字で書けば「子負虫」。子供を背負っている虫というのが語源。この虫のオスは背中に40個くらい卵を背負っている。一度目にすれば忘れることはないであろう。コオイムシはカメムシ目、コオイムシ科の水生昆虫である。前足には鎌状の鋭い刺があり、これで小さな魚を捕まえ養分を吸収している。同じような昆虫にタガメがいるが、これは前足が横へ広がって獲物を抱え込むように捕まえている。同じ牙でも捕り方が違うのである。この虫を初めて採ったのは40年前。美濃市の長良川近くの田んぼだ。手に取って眺めているうちに昔のことが目に浮かんできた。高山市の田んぼに何匹もいて、祖母からこの虫の名前を聞いたような気がするが60年以上も前のこと。思い出せない。それと高校生の時、故N氏と背中の卵の数を数えたような記憶があるが、これも定かではない。歳をとると昔のことは忘れてしまう。この現実には悲しくなる。

× × × ×

コオイムシは鎌形の前足で魚を襲うので狂暴な昆虫。特にオ

スが狂暴なのだろうと、多くの人が思うのではない。しかし、そうではない。オスは子育てをするやさしい昆虫なのである。これは厳しい自然界を生き延びるコオイムシの知恵なのである。とはいえ、オスにとっては過酷、いやメスが狂暴なのかも知れない。まずメスはオスと交尾をする。その後オスを押さえつけてどろどろした接着剤のような液を背中に塗り付け、ここに卵を産む。この接着剤は強力、乾くとセメントみたいに固まり絶対剥がれない。このためオスは飛べなくなり、この体で餌を捕るのは難しくなる。それで時には他のコオイムシを襲い、餌にすることがあるというからむごい話だ。そのうちに背中の卵が孵化して幼虫となり離れていく。これでオスの役目は終わりとなる。しかし、その後は今まで自分の背負ってきた子供を襲うというから、さらにもうむごい話だ。この幼虫が成虫になるのは7月から8月。しかし、年内にはほとんど死亡し、生き残るのは数匹。この虫にも厳しい現実があるのである。



× × × ×

レッド種を決めるのは難しい。委員それぞれの考えがあるからである。例えば30年以上採集されておらず、その場所が開発されていけば、ここでは絶滅したという人が多い。しかし、一方では確証もないのに決めつけるのはおかしいという意見もある。絶滅を証明するのは難しい。結局、変更なしとなる。となると今回のコオイムシも見たとだけで、採集されていない。当然、異論が出るだろう。しかし、この虫を見間違えることはない、とりあえず情報不足として推薦するつもりだ。また、国や県と違い市町村となると話がややこしくなることがある。例えばギフチョウ。国や県でもレッド種なので、岐阜市でも指定した。ところがギフチョウとゆかりの深い名和昆虫博物館長から反対意見が出てきたので、取り消した。ところが市民からはレッド種にすべきだと市役所へ抗議。私もレッド種に戻すべきだと思い、館長と話をした。館長はレッド種指定には反対だ。国や県を含めレッド種がなぜ必要なのか。無駄な開発を止めればよいだけのことでないか。これは私の信念だと言われた。その後も何回か館長にお会いしているうちに、了解を得ることができた。ほっとした。しかし、その後一言。「これはあなたの顔を立ただけで、本心は違いますよ」と笑顔で言われた。人の心がわかる素晴らしい館長だと思った。





ぎふ木遊館通信



ぎふ木遊館では、「ぎふ木育」の実践者を対象に、森や木に関する知識を深めていただくための「ぎふ木育実践者スキルアップ研修」を年4回程度企画しています。今年度1回目のスキルアップ研修を、令和4年7月23日(土)にぎふ木遊館で開催し、ぎふ木遊館に「さとやまさん」として登録しているぎふ木育サポーターを中心に19名の方に受講していただきました。

今回のテーマは「ぎふの木のおもちゃを学んで遊ぼう」。

岐阜県産材のおもちゃとしておなじみの「TSUMIBOBO(つみぼぼ)」。

その製作者である白百合工房(高山市)の上野望さん(右写真)から、つみぼぼの製作秘話、木のおもちゃや子どもたちへの想いを伺いました。



☆人と人の縁(えん)で出来た「TSUMIBOBO」

大学を卒業し教師として4年間働いた上野さんが故郷へ戻り、木工の修行を始めた当初、日本の木のおもちゃの自給率が1%足らずだと聞いて驚いたそうです。また、実家が営む家具製作の世界では針葉樹を使うことは常識外であり、日本の山の現状を知っている木工作家さんは少なく、上野さんもその1人でした。上野さんは、知り合いに誘われて山の現場を見聞きた際に、大量にチップにされる針葉樹の使い方に疑問を持ち、日本の針葉樹(スギ)を使って何とか良い製品を作りたい、もっと多くの人に使ってもらいたいと考えたことが、TSUMIBOBO 作りのきっかけになりました。

その後も、さるぼぼをモチーフにしたきっかけ、ネーミングをローマ字にしたきっかけ、入れ物を紙製の箱にしたきっかけ、その時々でちょうど良いタイミングでつながった人たちからのアドバイスによってできた産物だそうです。人と人の縁(えん)で生まれたTSUMIBOBO が今はたくさんの方との縁を作ってくれている、と上野さんは言います。

☆『プレイヤーズファースト』の想い

その後、上野さんの実演を交えながら、TSUMIBOBO 約 1200 個で実際に遊びました。上野さんが大事にしているのは『プレイヤーズファースト』。遊ぶ子どもたちが味わう楽しみ・学び・発見を想像しながら木のおもちゃの形、大きさ、素材は考えられています。研修受講者は、最初は1人で、その次は2人で、その次はグループで遊びながら、それらを体感しました。最後には、TSUMIBOBO 以外のぎふの木のおもちゃも交え、4人1組で積み木を積んで作品を作りました。隣の人に好きな積み木を数個渡し、渡された人はそれを積む。これを繰り返すことで、自分の意図だけでなく、グループメンバーとの関わりの結果で作品が作りあげられていきます。研修も終盤ですので、皆さんだいぶ心がほぐれてきたからなのか、個性が表に出てきます。そうそう、子どもたちの遊びもこんな感じ。



木のおもちゃは「コミュニケーションツール」とも言われます。それを存分に感じられる研修になりました。



やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー内にある森林総合教育センター（愛称morinos）で実施しているプログラムについてご紹介します！

<指導者スキルアップ研修「命を守る野外救急法」>

morinosでは、森に親しむ入口となる様々なプログラムを開催しています。今回ご紹介するのは、morinosが実施する自然体験指導者を対象としたスキルアップ講座です。

morinosでは、幼児への自然体験活動の広がりを受け、森のようちえんや、自然体験活動を実施する保育園や幼稚園のスタッフを対象に研修を開催しています。

今回は、「命を守る野外救急法」について研修を開催しました。講師として、一般社団法人ウィルダネス メディカル アソシエイツ ジャパンの寺田達也さんと大手まゆみさんにお越しいただきました。参加者は20名です。

野外活動では、傷病者が発生した場合、救急車や救助隊が駆けつけるまでに時間がかかることが多く、救助を待つ間、傷病者の命の緊急度を明確に判断することが大切です。生命の維持には酸素の流れが維持されていることが重要です。酸素は、呼吸により血液に溶け込み、血液の循環により細胞へ届きます。よって、酸素の流れは、循環器系、呼吸器系、神経系をチェックすることになります。様々なケースを想定し、傷病者の評価を実習しました。



【ウィルダネスメディカルアソシエイツ寺田さんによる講義】



【参加者同士の話し合い】



【傷病者評価の実習】



【傷病者評価の実習】



【傷病者評価実習、森の中で】



【傷の処置方法】

次に、傷病者の保護や情報収集について講義を受けました。特に、情報は、脈拍や呼吸等のバイタルサインの傾向、皮膚の傷や腫れ等の有無、頭部や肩、腰に大きな力が加わったか、精神状態等を収集し、救急隊へ引き継ぐことが大切となります。

最後に、派手な手足の骨折の処置に気を取られている間に命に係わる状況が進行していることがあるので、傷病者を注意深く観察しそれを見逃さないことが重要とのことでした。

事故等が発生した際、命に係わる状況なのか判断できれば冷静に対処できる、野外活動を楽しむためには救命救急というディフェンスの考え方も併せ持つことが大切ということを実感できた研修でした。

こうしたプログラムはmorinosのHPで開催をお知らせしています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。興味を持ってくださった方は、morinosのホームページ、動画YouTubeをご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

開所時間 10:00~16:00

YouTube 検索「morinosチャンネル」

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE

各務原市那加雲雀町30番地1



施設全景

施設概要

事業年度	令和2年度
事業主体	各務原学びの森株式会社
構造 延床面積	木造2階建て 891.48㎡
施設用途	スポーツ練習場
木材使用量 使用樹種	258㎡(うち県産材使用量225.6㎡) 杉、桧、栗、ヒメコマツ、ケヤキ、カラマツ
全体事業費	244,310千円
助成額	15,155千円
設計者	goboc設計事務所、株式会社TAB
施工業者	株式会社井上工務店
工期	令和2年8月から令和3年3月



施設の経緯

Park-PFI制度(*)を活用して設計・建設・運営をトータルで行い整備した、子どもの遊び場と飲食店が入る施設です。

木造トラスによるどこまでも続くようなデザイン、前面道路の並木と調和した構造が特徴です。各務原市の学びの森と各務原市民公園を結ぶbridge(橋)の役割を果たし、周辺エリアに枝葉を伸ばすように人々の動きが広がる起点として賑わいの中心となる施設を目指しています。

※Park-PFI制度:利用者にとって利便性が高い施設を民間事業者が設置し、それらの収益を活用して公園施設の整備・改修などを行う者を公募により選定する制度。

●木材利用関係表彰の受賞歴

- 2021年ウッドデザイン賞 優秀賞(林野庁長官賞)
- 2021年木材利用優良施設コンクール 審査委員会特別賞



ここに注目!!

無垢材を使用したトラス構造はすべて岐阜県産材で、大工による手刻みで出来ています。

利用者の様子

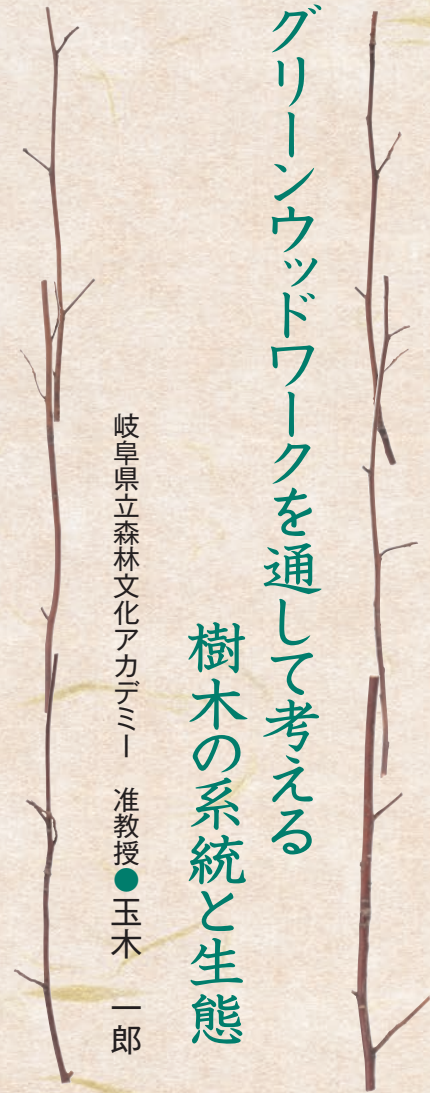
子ども達は色々な遊び方ができるオリジナルの遊具で体のびのびと動かし、大人は木に包まれて穏やかな気持ちで子ども達を見守っています。

■問い合わせ先
KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE (遊び創造labo)
TEL 058-260-3110

写真: ©kusunose tomozuki

グリーンウッドワークを通して考える 樹木の系統と生態

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 ● 玉木 一郎



紹介したいと思います。

【低木は硬い?】

例えば、低木には割と硬い材のものが多くのように思います。具体的にはマルバハギやトウコマツナギといったマメ科の低木や、アオキ、ノリウツギ、クスノキ科のクロモジ属はとても硬い材を持っています。マメ科はもともとハリエンジュのように硬いものもありますが、ネムノキのように軟らかい樹種もあります。一方、マルバハギやトウコマツナギはハリエンジュと比べても、かなりの硬さです。低木は高木に比べて、枝と幹の太さの差が小さく、その結果高木に比べ、枝に対して幹が相対的に細くなるため、材の強度が大きいのもかもしれません。



写真1 トウコマツナギ(左)とノリウツギ(中央)、ヤマコバシ(右)

【ヤマハゼとヤマウルシの違い】

ウルシ属は黄色い心材を持つという特徴があります。私の生活圏ではヤマハゼとヤマウルシが多く、いずれも黄色い心材とクリーム色の辺材が対象材でも美しいため、これら2種の材は何度も削りました。



写真2 ヤマウルシ(左)とヤマハゼ(右)

【複葉の木は道管が大きい?】

先述のウルシ属や近縁のヌルデ、モクセイ科のトネリコ属、マメ科、センダン、シンジュ、タラノキはいずれも複葉で、大きな道管が目立つ材をしています。複葉の樹種は明るい環境を好むものが多く、そのような樹種は水をたくさん吸い上げてぐん

ぐん成長するので、道管が大きいのもかもしれません。面白いのは、ムクロジ科はカエデ属のように細かい道管の散孔材が多いのですが、複葉のムクロジは大きめの道管が目立つ環孔材をしています(かといってムクロジが明るいところを好んでは、その成長もそれほど良いようには思えません)。ただし、例外もいくつかあり、ムクロジ科のトチノキやミカン科のサンショウ属は複葉でも小さな道管をしています。これらの樹種では、複葉であるということよりも系統の制約の方が強く影響しているのかもしれない。

【果樹は緻密な材】

果樹は緻密な材(適度な硬さの散孔材)でカトラリーに向いていると言われますが、果樹でひとまとめにするよりは、果樹として用いられる樹種の系統の特徴で考えたほうが適切のように思います。果樹というと、主にはミカン科やバラ科の樹種、カキノキになり、これらはいずれも適度な硬さの散孔材のため、果樹に緻密な材ということになっているのだと思います(カキノキは道管が大きめだが、その割に緻密)。



写真3 カキノキ(左)とレモン(右)

今回は、これまでに木を削りながら漠然と考えていたことや、同僚の植物生態学の柳沢先生や木工の久津輪先生と話していたことを文字にする良い機会となりました。もちろん、納得していただけでも、ただけないこともあるかと思えます。私はメジャからマイナまで様々な樹種の材を削っていますので、同好の士の方が森林文化アカデミーにいらした際には、ぜひともこれらの違いについて語り合いたいです。

2019年に本学で開催された「さじフェス2019」がきっかけで、グリーンウッドワーク、特にスプーンカービングにはまり、それ以来ほぼ毎日、斧やナイフで木を削る生活が続いています。製作したスプーンの数は500本を、削ったことのある樹種数は140を超えました。これまでは、立ち木の同定はできて木材の同定はできなかつたのですが、流石に普段から様々な樹種の材に触れていると、樹種差や個体差もだんだん分かるようになってきました。はずかしながら私が学生の頃は、柱目と板目の違いを何度聞いても理解できないレベルでしたが、今では「好きこそものの上手なれ」という言葉を実感しています。

私の専門は森林生態学や森林遺伝学です。もう少し噛み砕いて説明すると、樹木がどのように進化してきた、どのように自然の中で生活しているのかを明らかにすることです。ですので、木を削っているときには、系統(科や属)や生態と、木目や材の色、硬さなどをついっい関連付けて考えてしまいます。基本的には系統の制約があるのですが(進化的に近いものにはそもそも共通する部分があるという)、それを超えて生態が似たものには、共通する性質があるように思えます。ここからの話は、何かしらのデータに基づく科学的なものではなく、私の経験に基づく話で大変恐縮ですが、これまでに気付いたことをいくつか

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

5

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取組みを行っています。こうした取組みの内容について連載で紹介します。

『地域循環共生圏』の構築に向けた取組みを支援しています

岐阜県は「飛山濃水」と呼ばれるように、美しく豊かな自然に恵まれています。

各地域では、その自然を活かし、東濃ひのきや長良杉などの林業、飛騨牛や長良川のアユなどの農畜水産業が営まれ、更には、飛騨の家具や関の刃物、美濃和紙、美濃焼など個性的な伝統産業が生まれ、先人たちの手で守り、伝えられてきました。

このような地域の資源を地域の皆さんが認識し、最大限活用していくことが地域の発展には欠かせませんが、今後は、地域同士がそれぞれの特性を理解し、補完し、支え合っていくことも重要となっており、国は「第5次環境基本計画」において『地域循環共生圏』の概念を提唱しました。

県では、この『地域循環共生圏』の構築に向け、地域が取り組む普及啓発や事業計画の立案などの取組みを支援しています。

【岐阜県地域循環共生圏促進事業 概要】

①対象事業

- (1) 地域循環共生圏構想を知り、広めるための事業(先進地視察、シンポジウム開催など)
- (2) 地域循環共生圏に関わる主体(市町村、企業、団体等)を増やしネットワークを構築するための事業(セミナー開催、広報活動など)
- (3) 地域循環共生圏について戦略を立てるための事業(事業計画等の作成、地域の魅力を掘り起こす事業など)
※地域循環共生圏を実践する(または、実践する予定の)地域や団体等として、「環境省ローカルSDGs」実践地域等登録制度への登録を目指す事業であること。

②事業主体

市町村、団体、法人

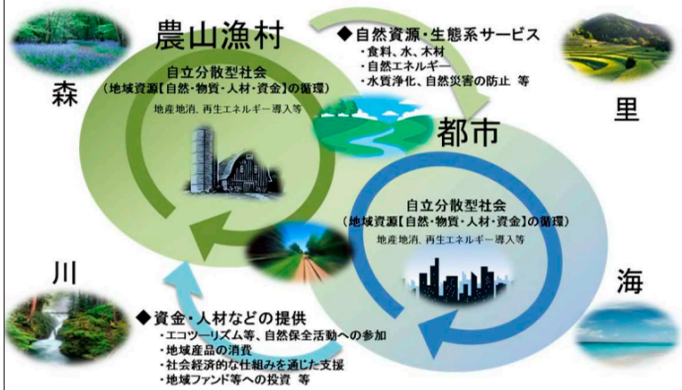
③補助率等

補助率 10 / 10以内 [1事業あたり 下限額:300千円、上限額:1,000千円]



地域循環共生圏

- 各地域がその特性を生かした強みを発揮
- 地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成
- 地域の特性に応じて補完し、**支え合う**



出典:環境省「第5次環境基本計画」

地域循環共生圏とは？

※国「第5次環境基本計画」から抜粋

各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、それぞれの地域の特性に応じて近隣地域等と共生・対流し、より広域的なネットワーク(自然的なつながり(森・里・川・海の連関)や経済的つながり(人、資金等))を構築していくことで、新たなバリューチェーンを生み出し、地域資源を補完し支え合いながら農山漁村も都市も活かす「地域循環共生圏」を創造していくことを目指す。

養生期間の違いによる

ヒノキ接着重ね材の接着性能

岐阜県森林研究所 ● 田中 健斗

はじめに

森林のたより 819号にて、ヒノキ心去り正角を使用した3段接着重ね材を試作し、曲げ強度性能を測定したことに付いて紹介しました。

接着重ね材は名前の通り木材を接着剤で貼り合わせた材料であり、接着層の剥がれはクレームや強度低下につながります。接着重ね材の構成材料は集材のそれよりも大きく、材内部により多くの水分が残されており、水分移動とともに材が変形し、剥がれが発生する可能性があります。そこで、乾燥終了後の養生（材を保管しておくこと）期間の違いによる接着性能について検証を行いましたので紹介します。

接着性能試験の概要

最高乾球温度83℃の中温乾燥を行ったヒノキ心去り正角を表1に示す3条件で養生したのち、木裏同士を木材用接着剤で貼り合わせ、120mm×240mm×約3,000mmの2段重ねの接着重ね材を試作しました。（写真1）両木口から試験片を切り出し、接



写真1 試作した2段接着重ね材

区分	養生期間
A	約3カ月（2月～5月）
B	約9カ月（9月～5月）
C	約15カ月（2月～5月）

表1 養生の条件

接着性能試験の結果

接着重ね材のJAS規格に基づいて浸漬はく離試験、煮沸はく離試験、ブロックせん断試験を行いました。

図1に、試験片の接着性能試験の結果

果を示します。浸漬はく離試験（図1左）ではほぼすべての材で基準を満たし、平均値もすべての条件で同程度の結果となりました。煮沸はく離試験（図1中央）ではどの条件も基準を満たさないものが2〜3割程度見られましたが、平均値は同程度となりました。ブロックせん断試験（図1右）でも、JASの基準値を下回り、強度が低いものが2〜3割程度見られましたが、平均値はどの条件でも同程度となりました。

以上より、今回設定した養生条件では、どの試験でも同程度の結果となりました。接着前に構成材料の含水率の測定を行ったところ、どの材でもJASの基準である18%を下回っており、材の内部と表面付近の差も小さくなっていました。このため今回の結果からは3カ月程度の養生により、含水率による接着性能への影響を十分に抑えることが可能であると考えられました。

今後は、3カ月よりも短い養生期間の場合、どのような影響を及ぼすかも検証を行っていく予定です。

おわりに

今回の結果では、煮沸試験とブロックせん断試験で3割程度の不良材が出たことから、養生期間に関する検討のみでは、JASの基準を満たす接着性能を得ることは難しいと考えられました。今後は、現在、民間の工場で作している重ね材の接着性能試験の結果も踏まえて、原因を検証していきます。

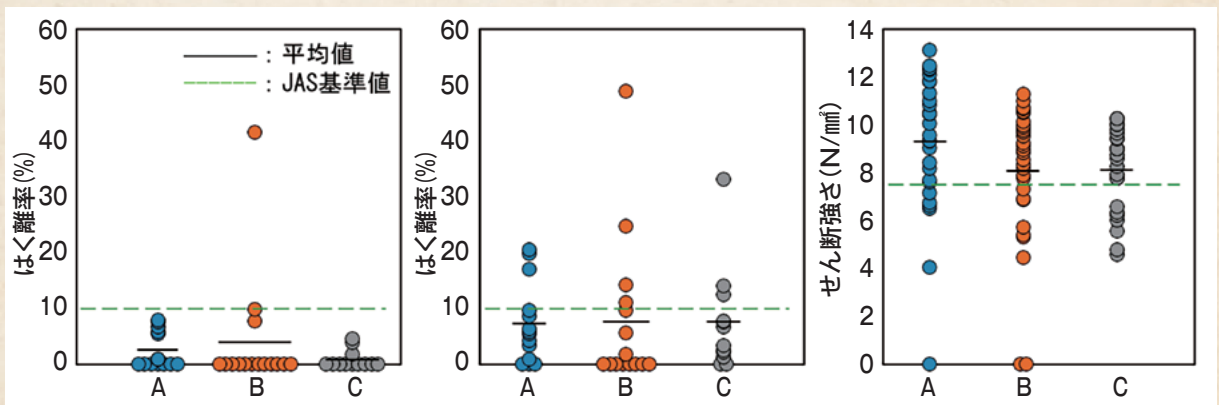


図1 接着性能試験の結果
（左：浸漬はく離試験、中央：煮沸はく離試験、右：ブロックせん断試験）

詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-331-2585

森林研究所まで



里山の整備に興味のある方はいませんか

山林協会通信⑥



現在、里山は生活様式の変化等様々な理由から放置されたため、藪状態になったり、竹が侵入するなどにより人々が入れなくなり、その結果鳥獣害被害の元凶となるなど、健全な里山への整備が必要になっています。国（林野庁）では、こういった荒廃した里山の整備を支援するため森林・山村多面的機能発揮対策交付金制度（以下「交付金制度」）を平成25年度から実施しています。岐阜県でも、県、市町村がこの制度の事業主体となる岐阜県森林・山村多面的機能発揮対策協議会（以下「協議会」）を設立し、県内の活動団体に支援を行っています。（R4.7現在27団体：下表参照）なお、交付金の詳細は、岐阜県山林協会HP（g-forestry.or.jp→里山整備支援室→森林・山村多面的機能発揮対策交付金制度の概要）をご覧ください。

写真は、活動事例です。間伐等の里山の整備をするだけでなく、間伐した材をシイタケ原木や薪に利用、間伐材の対価として地域通貨「里山券」の発行、自主財源確保のためのマイタケづくり、地元の中学生を対象として木製プランターづくり等ユニークな活動を行っています。



NPO法人ぎふし森守クラブ:間伐・シイタケ原木づくり

協議会では、こういった活動に興味を持たれた方が活動団体から里山整備の話聞ける場として、来年1月27日（金）に美濃市にある岐阜県立森林文化アカデミーで「関係人口創出・維持に関するセミナー（仮称）」（マッチングイベント）を開催します。12月ごろ詳細をお知らせします。興味のある方はぜひご参加ください。

【山林協会 瀬上】



木の駅上石津実行委員会:間伐材搬出・地域通貨の里山券



付知町優良材生産研究会:マイタケづくり・中学生対象木製プランターづくり

森林・山村多面的機能発揮対策交付金制度を活用して里山整備をしている県内団体（R4.7現在）

活動団体名	活動する里山のある市町村	活動団体名	活動する里山のある市町村
NPO 法人ぎふし森守クラブ	岐阜市	付知町優良材生産研究会	中津川市
三輪の里山を守る会	岐阜市	旧19区山林割山組合	中津川市
NPO 法人竹林救援隊	各務原市	スローライフ 山の会	中津川市
里山整備団体ロム	本巣市	苗木城城山溪谷保存会	中津川市
船来山古墳群ボランティア	本巣市	中切区里山環境整備活動組織	下呂市
柿野洞里山を守る会	山県市	里山保全会	下呂市
みやまもり活動組織	山県市	ふるさとの森再生の会よのさ	下呂市
木の駅上石津実行委員会	大垣市	小坂里山改善委員会	下呂市
山いきさの会	郡上市	二本木生産森林組合	高山市
半布りの郷	富加町	高山南の森保全会	高山市
たきろ里山クラブ	多治見市	森守クラブ合同会社まつぼっくり	高山市
NPO 法人奥矢作森林塾	恵那市	上宝蓑谷天空の森保存会	高山市
杣組	恵那市	NPO 法人活エネルギーアカデミー木の駅プロジェクト	高山市
飯沼生産森林組合	中津川市		



今年2月竣工、4月に移転した
組合事務所(本所)と中村さん

所有者に喜ばれる森林づくりを!

中濃森林組合

中村 禎宏さん

今回は、中濃管内(関市・美濃市)で森林整備等に取り組み中濃森林組合業務部統括部長の中村さんを紹介します。

「中濃森林組合」の概要

中濃森林組合は平成十六年に美濃市・旧関市・旧武儀郡(板取村・洞戸村・武芸川町・武儀町・上之保村)の七つの森林組合が合併し誕生しました。

六月末現在、役職員十九名(嘱託・パート含む)、森林技術者二十三名です。森林技術者のうち、林産班は三班九名、造林班は四班十四名の体制です。

中濃森林組合は、年間約三百〜四百ヘクタールの間伐等の保育施業や主伐・再造林を行い、約二万立方メートルの素材生産を実施するなど、中濃管内の森林整備の中核的な役割を担っています。

中村さんの前職

中村さんは現在五十歳で、愛知県東海市の出身です。

大学在学中は情報処理を専攻し、卒業後はシステムエンジニアか、プログラマーかと考えていました。

しかし、違った仕事をしたいと思うようになり、卒業後は、東京の歯科治療機器メーカーに就職し、営業の仕事に就きました。営業成績はトップでしたが、土日無いくらい多忙だったため、当時交際していた現在の奥さんから、「結婚するなら転職してほしい。」と依頼があり、転職を決意しました。

森林組合へ入るきっかけ

転職にあたり、子供の頃からの憧れだった

た漁師と同じ一次産業である農業への転職を奥さんに相談したところ、逆に、「林業関係の仕事を探したら。」と助言をもらい、林業のいろはも分らない状態で、平成十年に東京池袋で開催された林業ガイダンスに参加しました。

そこで、岐阜県ブーアの県森林公社の担当者から、林業の概要説明を受け、森林技術者を募集していた板取村森林組合への転職を決意したそうです。

森林組合へ入ってから

板取村森林組合に平成十一年五月に入り、森林技術者として造林地の下刈、雪起、枝打ち等の保育作業を担当しました。が、四年程たった時に、事務所職員へ配属となりました。

組合は翌十六年に合併して中濃森林組合となりましたが、平成二十八年に四つの支所職員が本所へ集合配置するまでは、各支所毎で業務全般を行っていました。

本所勤務となつてからは、中村さんは造林課長として森林整備業務全般を所管し、令和三年四月からは業務部統括部長に抜擢されました。

中村さんは、各担当がスムーズに業務を行えるように、各担当と事業の進捗管



森林経営管理制度検討部会

中村さんは、「組合の職員は経験者が多く、個々の能力も高いので、人に頼るのではなく自分で考え行動してほしい。また、新しいことにも失敗を恐れずに挑戦してほしい。」と語っておられました。また、「退職まであと十年ですが、まだまだ、家族のためにも頑張りたい。」とおっしゃっていました。

中村さんの今後の活躍が楽しみです。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-13314011(内線2301)

中濃森林事務所まで

今後について

中村さんは、「組織の皆が気持ち良く仕事ができるような環境づくり」を大切にされています。雰囲気が良い仕事は出来ないかと職場の環境づくりに気を使っているとのこと。また、「お客さん(森林所有者)に喜んでもらえるように仕事をしたい。」とも話されています。そのため、「組合に頼んで良かったと言ってもらえるように心掛けること。また、目に見えて喜ばれることを考えることも必要」と話されました。

仕事をすすめるうえで大切にしていること

また、岐阜県地域森林監理士としても、管内各市の森林管理委員会や美濃市森林経営管理制度検討部会等に参画し、林業事業体の立場から積極的に森林整備推進のための意見をされています。



架線式グラップル・油圧集材機の視察報告



■森林文化アカデミー

スマート林業推進係 林業普及指導員 上平 雄也

はじめに

岐阜県内の森林には急傾斜地も多く、集材・搬出作業に必要な路網を十分に確保できるとは限りません。そんなときは架線集材の出番です。例えば、皆伐の現場に集材機を持ち込んでエンドレスタイラー方式で架設すれば、面的に集材することができます。

さて最近、新たな架線集材の機械が国内で開発され、注目を集めています。これまでになかったタイプの画期的な機械ですが、実際の現場でどの程度役に立つのか、皆さん気になっていないのでしょうか。

そこで、メーカーに問い合わせたところ、島根県内でデモ機が稼働しているとの情報を得たので、実機での集材作業を視察してきました。

視察機械

イワフジ工業(株)製

- ・架線式グラップル BLG-16R
- ・油圧集材機 YR-302E

架線式グラップルの概要

通常の架線集材では、搬器から降りてくるロージングフックに、荷を縛ったスリング(荷吊索)を作業員が直接掛けます。架線式グラップルは、ロージングフックの代わりになんとグラップルが付いていて、材を掴むことができます。まるでゲームセンターにあるクレーンゲームです。作業員は離れた位置からリモコンで操作し、フックに荷を掛けに行く必要があります。安全性が大幅に向上し、労働負荷も小さくなります。



▲架線式グラップル

油圧集材機の概要

油圧で駆動する集材機は全く新しい技術というわけではなく、他のメーカー(前田製作所)にも現行品がありますし、タワーヤードのほとんどは油圧集材機とも言えます。

この機種はドラム2つ(巻き込み容量は12ミリ径で900m)にエンドレスドラムを1つ備えているので、エンドレスタイラー方式で架設することができます。

従来の集材機(機械式)は、正



▲油圧集材機

逆転、変速、各ドラムのクラッチとブレーキを状況に応じて適

油圧集材機と従来のシステムとの比較

	油圧集材機・架線式グラップル	油圧集材機（架線式グラップルなし）	従来の集材機（機械式）	タワーヤーダ
操作	無線リモコン（※）	無線リモコン	熟練が必要 無線音声で指示	無線または有線リモコン
安全・労働負荷	荷掛けが安全で楽	荷掛けの負担大	荷掛けの負担大	荷掛けの負担大、架設撤去が楽
人数	2人で作業可	2人で作業可	オペ、土場、先山の3人	2人で作業可

※将来的にAIを搭載した自動運転（ワンオペ）を想定しているため、リモコン間での操作権受け渡し機能は不完全（令和4年6月時点）

切に操作する必要があり、かなりの高難度です。その点、油圧集材機は、未経験者でもリモコンで簡単に動かせるのが大きなメリットです。

寄せる期待

このシステムでは荷掛け手の移動時間が省かれるので、従来機に比べて生産性の向上も期待できます。ただ、使用者に聞いてみたところ、急傾斜地では材を掴みづらく時間がかかるので、結果として、今のところ生産性はあまり変わらないとのことでした。これについては今後の検証と改善が課題です。今回視察したデモ機ですが、来年度に岐阜県内で稼働する見込みです（下欄のスマート林業通信参照）。少し先にはなりませんがどうぞお楽しみに。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-3512535

森林文化アカデミー スマート林業推進係まで

スマート林業通信 27

林野庁の「経営モデル実証事業」を誘致

最新式林業機械を岐阜県に誘致するため、林野庁の新規事業「経営モデル実証事業」に応募し、全国10地域の1つとして選定されました。

この事業は「新しい林業」の実現に向けて素材生産から販売、再造林・保育までトータルで、林業経営の総収支が従来よりプラスになるモデルになることを目標として実証試験に取り組むものです。

岐阜県では白鳥林工協業組合、中江産業株式会社、森林文化アカデミー及び郡上農林事務所の4者共同で提案し、次の3つの最新式林業機械について郡上市八幡町河鹿地内の森林で効率化・省力化・安全性向上に向けた実証試験を行うとともに、研修会による普及活動をを行います。

（導入機械）

① 油圧集材機・架線式グラップルシステム（イワフジ工業株式会社）

② ICT（自動採材機能付き）ハーベスタ（日立建機日本株式会社）

③ 山もつとモット（キヤニコム）スケジュールとして今年度は、山もつとモットは9〜10月頃、ICTハーベスタも9〜11月頃に林業関係者を対象とした現地研修会を企画する予定です。

油圧集材機・架線式グラップルシステムは来年度に行う予定です。架線技術の普及と架線技術者の育成は重要課題であり、リモコンを使ってグラップルで木材をつかみ集材するシステムは特に安全面で有効です。

間伐から皆伐へシフトし、伐採と再造林による森林の若返りを進めるため、ぜひ最新式林業機械を見にお越しください。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-3512535

森林文化アカデミー スマート林業推進係まで

鳥獣保護及び狩猟に関する講習会を開催しました

岐阜森林管理署管内におけるニホンジカの生息状況は増加傾向にあり、今後の森林被害の拡大が懸念されています。

岐阜森林管理署では、森林に甚大な被害を及ぼす鳥獣被害対策を進めるため、鳥獣の保護や狩猟についての知識の向上を図るとともに、獣害対策に専門的な知識を有する職員を育成するため、「鳥獣保護及び狩猟に関する講習会」を開催しています。

野生鳥獣を捕獲するためには狩猟免許が必要ですが、森林管理署等の国有林野関係職員は、国有林事業職員研修規定に定める鳥獣保護及び狩猟に関する研修を過去3年以内に履修した者であれば、狩猟免許がなくても国有林内で有害鳥獣捕獲（農林水産業や生態系への被害防止のための予防的な捕獲及び鳥獣による生活環境、農林水産業若しくは生態系に係る被害の防止を図るための捕獲等）を

行うことができます。

岐阜森林管理署管内においても職員捕獲を実施していることから、この講習会の実施は必須のものとなっています。

鳥獣被害防止は、被害が顕著に現れる前からの対応が重要であることから、今年度の講習会は、7月12日（下呂市農村活性化施設）きこりセン



▲講習の様子



▲実技講習の様子（保定具の使用）

ター「多目的ホール」において開催し、森林管理署の職員等34名が参加し研修を履修しました。

午前の部では、岐阜県環境生活部環境生活課の職員を講師に迎え「鳥獣保護管理に係る関連法令」について講習を行いました。

午後の部では、岐阜森林管理署職員が、くくり罠の設置等について、資料を使って説明した後、狩猟免許を持ったベテラン職員によるくくりわな実技講習を行いました。

くくり罠の種類や設置方法、保定具を使った捕獲後の保定のやり方などの説明を行い、参加者が実際に罠

の設置についても体験しました。

11月には、森林技術・支援センターと共同でニホンジカ食害防除対策検討会の開催を計画しており、七宗国有林内に設置している「獣害対策展示エリア」の視察などを予定しています。



▲実技講習の様子（くくり罠の設置）

今後ともニホンジカの食害などの森林被害を防止するため、地域と連携した獣害対策に取り組んでいきたいと考えています。

（岐阜森林管理署）

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
10月6日(木)~ 10月7日(金)	機械集材装置 運転業務特別教育	●講習時間：6日 学科 8:50~16:10 7日 実技 8:30~17:40 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：17,500円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	6日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 7日(実技) 美濃市曾代地内(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月20日(木)	刈払機取扱作業者 安全衛生教育	●講習時間：学科 9:00~15:20 実技 15:30~16:30 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：11,550円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
10月25日(火)~ 10月26日(水)	簡易架線集材等 機械の運転業務 特別教育	●講習時間 25日 学科 8:50~16:00 26日 実技 8:30~17:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：57,200円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。 学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は 10名単位の開催となりますので実技受講者が 20名以上の場合は翌日になりますのでお問合 せ下さい。)	25日(学科) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 26日(実技) 中濃地内山林(予定) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月8日(火)~ 11月11日(金)	フォークリフト 運転技能講習 受講資格 自動車普通運転 免許所持者	●講習時間 1日目 学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目 実技・試験 8:00~17:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員：20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館(山県市大門 912-1) (実技) ぎふ農協 旧伊自良共選場(山県市洞田 127-5) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月16日(水)~ 11月18日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間 16日 学科 8:50~17:10 17日 学・実 8:50~12:00 18日 実技 8:30~17:40 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：23,870円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	16日(学科) 17日(学・実) ぎふ森林文化センター(岐阜市六条江東 2-5-6) 18日(実技) 県森連岐阜林産物共販所(関市倉知字物見山) 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

近年、健康・観光・教育等の多様な分野で森林空間を活用することで、新たな産業を創出する「森林サービス産業」という考え方が林野庁より提唱され、岐阜県の森林活用推進課内にも今年度より「森林サービス産業支援係」が新設されました。

県内にも様々な森林サービス産業や、その基盤となりうる森林空間が存在しますが、先日、その一つである川辺町の遠見山に行ってきました。山頂からの眺めがグランドキャニオンのホースシューベンドに似ていることから「岐阜のグランドキャニオン」と呼ばれており、この愛称が口コミで広がったことで、昨年度から登山者が増えているそうです。頂上まで往復1時間ほどのため、手軽に登ることができました。

身近な森林空間でも、見方や発想によって観光資源になりうる可能性を秘めており、こういった場所が県内にもまだまだあるのかもしれない。

「森林のたより」編集委員 藤代 凌兵

COLUMN

イベント情報

10月1日発行

連載

- 山の歳時記(206)
- 山のおじゃまむし(375)

清流と森と親しむ

- 森林と人を活かす知恵(117)

木と親しむ

- 岐阜県の公共木造建築(115)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

- 研究・普及コーナー

市況情報

その他

10月号
予定

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	備考	
第1798回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	17,200	—	単価は直材 価格、但し 平均値は並 材二番玉価 格	
		4 m	16~18cm	15,800	—		
			20~22cm	17,000	—		
			24~28cm	16,800	—		
		30cm以上	15,000	—			
	6 m	16~18cm	—	—			
	8月23日	ひのき	3 m	16~18cm	26,200		—
			20cm以上	21,500	—		
		4 m	16~22cm	24,800	—		
			24~28cm	20,500	—		
30cm以上			20,200	—			
6 m		16~18cm	—	—			
第1383回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,000	—		
		4 m	24~28cm	16,000	—		
			30cm以上	15,000	—		
	ひのき	3 m	16~18cm	26,000	—		
		4 m	20~22cm	23,500	—		
			24~28cm	20,500	—		
			30cm以上	20,200	36,600		
		6 m	16~20cm	30,000	—		
	8月3日	ひめこ	4 m	24~28cm	11,000	—	
			30cm以上	12,000	—		
5 m		30cm以上	—	—			
くり		4 m	24cm以上	15,000	—		
第1715回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	17,200	—		
		4 m	24~28cm	17,000	—		
			30cm以上元	14,500	—		
	ひのき	3 m	16~22cm	24,000	—		
			24~28cm	20,000	—		
			30cm以上元	25,000	39,000		
		4 m	13cm以下	10,000	—		
			24~28cm	20,000	—		
			30cm以上元	24,000	72,000		
	8月4日	まつ	4 m	22~28cm梁	—	—	
30cm以上元			10,000	—			

【商況】

ヒノキは全体的に需要が緩み価格は弱含み。スギは全体的に安定した需要により価格は保合で推移。スギ4m元木中目、尺上良材については、活発な応札がみられるが価格は保合。製紙向けバルブ材、発電向け未利用材とともに原木不足感が強く需要高。(岐阜)

夏季を迎え、天候等による材質低下もあり全体的に弱含み。ヒノキ・スギとも通常どおりの引き合いであるが、合板向け原木販売の一部停滞から軟調ぎみになっている。広葉樹は出品が少ないもののナラ良材等の引き合いが強く高値となった。高値マクルミ1.9m×36cm@35,000円 ナラ2.2m×58cm@111,600円 ナラ2.2m×56cm@86,400円(飛騨)

ヒノキ4m(40cm上)元木 役物良材は応札多数で活気づいたが、構造材向けは需要が緩み価格は軟化傾向。柱は価格に伸びは見られず弱含み。ヒノキ4m中目材も需要先在庫が潤沢で虫害懸念も相まって価格は弱含み。スギ4m元木良材については、活発な応札がみられるが元伐から時間の経った原木は売りづらい。スギ4m中目、尺上構造材向けは安定した需要に支えられ保合で推移。スギ3m柱向けも堅調な需要に支えられ保合で推移。(東濃)

記念市の開催をお知らせします。「ぎふ優良材展」11月10日(木)東濃共販所、「広葉樹祭り」12月7日(水)飛騨共販所

製品卸売標準価格 (7月期)

(単位:円)

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m³当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	100,000	(3,308)	→
	間柱	3000	105	30	1等	100,000	(945)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	上1等	120,000	(5,292)	↘
	柱	3000	120	120	特等	110,000	(4,752)	↘
6000		120	120	上1等	170,000	(14,688)	↘	
W 集 ウ ッ ド 材	柱	3000	105	105	国産5層	161,000	(5,300)	↘
		3000	120	120	国産5層	151,000	(6,500)	↘

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況 (7月期)

1㎡当り(価格単価:100円)

樹種	規格	価格	樹種	規格	価格
米松	SSタイプ	504	米栂	へム(アラスカ産)	450
	コスト(目荒)	522	米ひば	ポール	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コストのみ大阪相場)

2×4住宅

これってなあに? ~木材用語~

枠組壁工法による住宅のこと。主に2×4インチの木材を使用して建築されるのでツーバイフォー(2×4)という。19世紀初めに北米で生まれた。耐火性を高めるために石膏(せっこう)ボードを取り付けることが規格で決められている。構造的にも気密性が高く、酸素が供給されないため火が回りにくい。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典